

数 学 採 点 基 準

【注意】 この採点基準以外に問題がおこったときは、各学校で基準を設けて採点すること。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
1	(1) 13		各 2	16
	(2) $\frac{10}{21}$			
	(3) -1			
	(4) $3x - 5y$			
	(5) $\begin{cases} x = -3 \\ y = 2 \end{cases}$			
	(6) $30\sqrt{2}$			
	(7) $(x - 5)(x - 8)$			
	(8) $x = \frac{1 \pm \sqrt{33}}{4}$			
2	(1) ③		2	8
	(2) 30		3	
	(3) 点Eのy座標はbであるから、点A、Cのx座標はそれぞれ $\frac{1}{b}$ 、 $\frac{3}{b}$ である。また、点Eのx座標はaであるから、点B、Dのy座標はそれぞれ $\frac{1}{a}$ 、 $\frac{3}{a}$ である。このことから、 $AC = \frac{2}{b}$ 、 $BD = \frac{2}{a}$ である。これらを $AC = BD$ に代入すると、 $\frac{2}{b} = \frac{2}{a}$ となる。したがって、 $a = b$ であるから、点Eのx座標とy座標は等しくなる。		3	
3	(1) 57		2	8
	(2) ②		各	
	(3) 50π		3	

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
4	(1) $7 - x$		2	5
	(2) $\frac{5}{18}$		3	
5	(1) 3		各	7
	(2) 8		2	
	(3) $-\frac{7}{2}$		3	
6	(1) $\triangle ABD$ と $\triangle EAF$ において $AB:EA = AC:EA = 2:1 \dots \textcircled{1}$ $AD \parallel EF$ であるから $AD:EF = AC:CE = 2:1 \dots \textcircled{2}$ $\textcircled{1}$ 、 $\textcircled{2}$ より、 $AB:EA = AD:EF \dots \textcircled{3}$ 平行線の錯角は等しいから $\angle CAD = \angle ACB = 45^\circ \dots \textcircled{4}$ $\textcircled{4}$ より、 $\angle BAD = 90^\circ + \angle CAD = 135^\circ \dots \textcircled{5}$ 平行線の同位角は等しいから $\angle CEF = \angle CAD = 45^\circ \dots \textcircled{6}$ $\textcircled{6}$ より、 $\angle AEF = 180^\circ - \angle CEF = 135^\circ \dots \textcircled{7}$ $\textcircled{5}$ 、 $\textcircled{7}$ より、 $\angle BAD = \angle AEF \dots \textcircled{8}$ $\textcircled{3}$ 、 $\textcircled{8}$ より、2組の辺の比が等しく、その間の角が等しいから $\triangle ABD \sim \triangle EAF$	小前提を省略したもののについては、適宜減点すること。	3	6
	(2) $3\sqrt{5}$	3		